|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 宗教に関連する儀礼を「祭礼」というが，元旦，節分，雛祭り，彼岸，七夕，盆，大晦日など，年間の節目を形成する儀礼を総称して何というか。 |  |
| 2 | 自然現象や動植物などのあらゆるものに精霊が宿り，霊魂があることを認める原始宗教にみられる精霊崇拝を何というか。 |  |
| 3 | 古代日本人が理想とした，「集団の調和を重んじ，私欲を捨て，隠すところのない純粋な心」のことを何というか。 |  |
| 4 | 推古天皇の摂政となり，憲法十七条を制定するなど，仏教の理念に基づいた政治を行った人物は誰か。 |  |
| 5 | 仏教伝来後，仏や菩薩が日本の人々を救うために仮の姿をとってあらわれたのが日本古来の神々であるとされた。このように，日本古来の信仰と仏教を融合させた信仰のありようを何というか。 |  |
| 6 | 見るものや聞くものに対する驚嘆の声である「ああ」「はれ」を語源とし，江戸時代の国学者の本居宣長が日本の古典文芸の本質であるとした概念は何か。 |  |
| 7 | 朱子学への批判から江戸時代に成立した，古代中国における孔子や孟子の教えへの回帰を説く，日本独自の儒学の学派は何か。 |  |
| 8 | 『風土』を著し，人間性や社会の特質を，自然環境に起因するモンスーン（東アジア）・砂漠（西アジア）・牧場（ヨーロッパ）の三つの型に分けた哲学者は誰か。 |  |
| 9 | 人間の存在は個人と社会との相互否定的な関係のなかにあるとする，和辻哲郎の人間観を何というか。 |  |
| 10 | 第二次世界大戦中の戦時研究から生まれた著書『菊と刀』で，日本は「恥の文化」であり，西洋の「罪の文化」とは異なると分析したアメリカの文化人類学者は誰か。 |  |
| 11 | 奈良時代の日本では，東大寺の大仏をはじめ，諸国で国分寺・国分尼寺の建立がさかんに行われた。このように仏教の力で国家を守ろうとする考え方を何というか。 |  |
| 12 | 仏教の教（教え）・行（修行）・証（悟り）のすべてが存在する正法の時代から，教・行のみが実現される像法の時代を経て，教のみが伝えられる時代が来るとされた。平安時代末期に世情不安を受けて流行した，このような考え方を何というか。 |  |
| 13 | 平安時代中期の僧で，日本で初めて口誦念仏を実践した，浄土信仰の先駆とされる人物は誰か。 |  |
| 14 | 平安時代中期の僧で，『往生要集』を著し，日本における浄土思想の先駆とされている人物は誰か。 |  |
| 15 | 自力での修行を捨て，もっぱら「南無阿弥陀仏」と唱えることで極楽往生をとげようとする法然の思想を何というか。 |  |
| 16 | 浄土宗・浄土真宗の本尊で，すべての衆生を救おうと48の誓願を立てた仏を何というか。 |  |
| 17 | 禅宗（とくに曹洞宗）において重視される，姿勢を正した状態で精神統一を行う仏教の修行法を何というか。 |  |
| 18 | 鎌倉時代に，法然が浄土信仰に基づいて開いた，念仏を唱えるだけで救済されるとする仏教の宗派は何か。 |  |
| 19 | 鎌倉時代に，法然の弟子の親鸞が開いた，絶対他力の考え方を徹底した仏教の宗派は何か。 |  |
| 20 | 鎌倉時代に道元が開いた，坐禅によって自力での救済をめざした禅宗の宗派は何か。 |  |
| 21 | 鎌倉時代に日蓮が開いた，法華経を重視して「南無妙法蓮華経」と唱えることを説くとともに，社会全体の救済を求めた仏教の宗派は何か。 |  |
| 22 | 江戸幕府を開いた徳川家康に仕え，人の身分にも上下の秩序があるとする朱子学の定着を図った人物は誰か。 |  |
| 23 | 日常生活から離れがちな朱子学の理論を批判し，儒教道徳に基づいた武士のあり方（士道）を説いた江戸時代の儒学者は誰か。 |  |
| 24 | 鎖国下の江戸時代において，オランダからもたらされた天文学・地理学・医学などの実用的な分野の知識を総称して何というか。 |  |
| 25 | 明治時代の作家・軍医で，近代的な自我と社会的立場に挟まれて葛藤する人間のありようを『舞姫』などに描いた人物は誰か。 |  |
| 26 | 古代日本では，神は造物主ではなく，自然のあらゆる事物に宿る八百万の神々であるとされた。こうした自然崇拝を起源として形成された，日本独自の神への信仰を広くまとめて何というか。 |  |
| 27 | 日本神話においてイザナギノミコトが黄泉国の穢れを川の水で洗い流した故事にならい，川や海の水で身をすすぐことにより穢れを除き去る呪術を何というか。 |  |
| 28 | 日本神話においてスサノオノミコトが祭祀を妨害した罪に対して爪やひげを切り物品を差し出した故事にならい，罪を除き去るために呪術を行うことを何というか。 |  |
| 29 | 外来文化の摂取者・加工者としての独立性を保った日本文化の性格を和辻哲郎は何と呼んだか。 |  |
| 30 | 日常生活を意味する「ケ」と対立する概念で，正月や盆のように神仏や祖先と接する非日常的な状態を何というか。 |  |
| 31 | 法華経を中心とした一切衆生の仏性と成仏について説いた，伝教大師と呼ばれる僧侶で，高野山金剛峰寺を拠点に真言宗を広めた人物は誰か。 |  |
| 32 | 弘法大師と呼ばれ，最澄とともに唐にわたり，帰国後に真言宗を開いた，弘法大師と呼ばれる僧侶は誰か。 |  |
| 33 | 鎌倉新仏教の代表者で，末法時代にふさわしい信仰を求めて旧仏教を批判し，阿弥陀仏の本願による絶対性を確信して悟りを開いたのは誰か。 |  |
| 34 | 鎌倉新仏教の代表者で，法然の浄土宗の理念をさらに深め，単なる極楽往生を求める思想から人間罪業救済の教えにまで発展させたのは誰か。 |  |
| 35 | 鎌倉新仏教の代表者で，1223年入宋して修行。帰朝後に末法思想を批判し，自己を捨てて真理に到達できるたった一つの道として坐禅をすすめた人物は誰か。 |  |
| 36 | 鎌倉新仏教の代表者で，天台宗を学んだが，数ある仏典のうち法華経こそ最もすぐれていると確信し「南無妙法蓮華経」を唱えて成仏できると説いた人物は誰か。 |  |
| 37 | 各地で踊念仏を行い，遊行上人と呼ばれた時宗の開祖は誰か。 |  |
| 38 | 古代中国の言葉や文法にのっとって古典を理解しようとする，古文辞学を提唱した江戸中期の古学派の儒学者は誰か。 |  |
| 39 | 江戸前期の儒学者で，朱子学や陽明学を批判し，『論語』や『孟子』に直接学ぼうとする古義学を提唱して，京都堀川に古義堂を開いた人物は誰か。 |  |
| 40 | 契沖の影響を受け賀茂真淵に学んだ国学者で，『古事記』『源氏物語』などを実証的に研究することによって，古代日本人のなかに自然な人間性の理想を見いだそうとした国学の大成者は誰か。 |  |
| 41 | 信濃国松代の藩士で，江戸に洋式砲術と兵学の塾を開き，西洋近代思想に対し，「東洋道徳，西洋芸術」という言葉で西洋文化の変容のあり方を表記した人物は誰か。 |  |
| 42 | 内村鑑三が影響を受けた札幌農学校の創設者で，帰国に際し"Boys, be ambitious!"という有名な言葉を残したアメリカの教育者とは誰か。 |  |
| 43 | 明治時代の啓蒙思想家で，「一身独立して一国独立す」と唱えた人物は誰か。 |  |
| 44 | 専制政府を批判し，人民の抵抗権・革命権を主張。自由民権運動の理論的指導者となり，東洋のルソーとも呼ばれていた人物は誰か。 |  |
| 45 | イエスの前に立つ日本人の内面として，武士道精神を重んじた無教会主義のキリスト教徒で，日露戦争時に非戦論を唱えた人物は誰か。 |  |
| 46 | 近代的な自我の確立を追求した明治の文人で，西洋的な自己本位，個人主義から，「則天去私」という東洋的な考えに至ったとされる人物は誰か。 |  |
| 47 | 『善の研究』を著し，禅の思想と西洋哲学を融合させ，「純粋経験」を真の実在とした哲学者は誰か。 |  |
| 48 | 日本人は，氏神のほかに自然現象や歴史上の人物，獣さえも神として畏おそれ敬うが，多くの神々のことを総称して何というか。 |  |
| 49 | 奈良時代にの暗唱した事項をもとに太おおの安やす万ま侶ろが編纂した，日本最古の歴史書とされる書物は何か。 |  |
| 50 | 神仏習合思想の代表的なもので，仏が本地（本体）であり，民衆を教化し救うために姿を変えて現れたのが神道の神々であるとする考えを何というか。 |  |
| 51 | 平安時代の仏教は貴族を主体として，厳しい戒律や寄進を要求していた。こうした仏教への批判から生まれた，武士や農民を主対象としてわかりやすい教えや簡単な行いによる救済を特徴とする仏教の宗派を総称して何というか。 |  |
| 52 | 鎌倉時代，法然は念仏を唱えると極楽浄土に往生できると説いた。この称名念仏で唱えられる言葉を漢字六文字で答えよ。 |  |
| 53 | 浄土思想を基調とし，阿弥陀仏への信仰がなくとも念仏を唱えるだけで救済されるとした鎌倉時代の仏教の宗派は何か。 |  |
| 54 | 鎌倉時代に栄西によって日本に伝えられた，師弟の問答と坐禅によって悟りをめざす禅宗の宗派は何か。 |  |
| 55 | 鎌倉時代初期の僧で，臨済宗を日本に伝え建仁寺を建立したほか，喫茶の習慣を伝えたことでも知られる人物は誰か。 |  |
| 56 | 室町時代に成立した演芸で，禅宗の影響を受けて幽玄の美を表現する演目の多い伝統芸能は何か。 |  |
| 57 | 日本独特の美意識の一つで，おもに能の表現などで重視される，言葉で言い尽くせない余韻など奥深さをあらわす言葉は何か。 |  |
| 58 | 安土桃山時代の茶人である千利休が茶の湯を通じて体現した概念で，禅の思想的影響に基づき，人を歓待する精神を何というか。 |  |
| 59 | 江戸時代の俳人松尾芭蕉が，俳句に備わっていたユーモアを芸術性にまで昇華させた精神のあり方を何というか。 |  |
| 60 | 江戸時代に成立した演芸で，規範をはみ出す「かぶき者」を語源とする庶民的な活力に満ちた伝統芸能は何か。 |  |
| 61 | 江戸時代の国学者で，『万葉集』などの古典研究を通じて古代日本人の精神について考察し，本居宣長に影響を与えた人物は誰か。 |  |
| 62 | 日本民俗学の確立者で，全国各地の民間伝承や習俗・信仰の研究から日本人の精神を探究した人物は誰か。 |  |
| 63 | 常世の国（海の彼方にあると考えられた想像上の異郷）からときを定めて，村落に訪れ豊饒や安穏を授けて去っていく存在を何というか。 |  |
| 64 | 『超国家主義の論理と心理』で民主主義を積極的に評価した政治思想史研究家だが，社会秩序の象徴として批判されることもある戦後日本に民主政治の確立を唱えた東京大学教授だった人物は誰か。 |  |
| 65 | 著書の『甘えの構造』において，日本の文化・社会の特徴を「甘え」という概念で分析した人物は誰か。 |  |